



認定調査／審査 (一次判定 & 二次判定)のAI化 (機械学習など)

日本ケアテック協会 常務理事
株式会社ポラリス 代表取締役
森 剛士





団体概要

Japan
Care
Associatio

私たちが目指すもの

介護事業者とケアテック事業者間の懸け橋となり、
介護現場のデータの利活用の促進、
現場に即したテクノロジーの社会実装の推進、
そして、国の社会保障の仕組みへの提言を行うことで、
「持続可能な介護」の実現に貢献する。
さらに、その「日本モデル」を高齢化先進国として世界に示し、
介護ソリューションの国際化に貢献する。

理事・顧問・監事

役職	氏名（敬称略）	現職
代表理事	鹿野 佑介	株式会社ウェルモ 代表取締役CEO
専務理事	竹下 康平	株式会社ビーブリッド 代表取締役
常務理事	森 剛士	株式会社ポラリス 代表取締役社長 / 医療法人社団オーロラ会 理事長 / 医師
理事	宮島 俊彦	岡山大学客員教授 / 元厚生労働省老健局長
	池田 紫乃	慶應義塾大医学部 医療政策・管理学 ウェルビーイングリサーチセンター 研究員（博士）
	岡本 茂雄	産業技術総合研究所 招聘研究員
	山岡 勝	パナソニック株式会社 くらし事業共創センター スマートエイジングケア事業
	三浦 雅範	コニカミノルタQOLソリューションズ株式会社 代表取締役社長
	宮本 隆史	社会福祉法人善光会 理事 最高執行責任者 統括施設局長
	グスタフ・ストランデル	こひつじ会グループ
	落合 孝文	弁護士 / 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業パートナー
	青柳 直樹	ドクターメイト株式会社 代表取締役医師
	結城 崇	株式会社エクサウィザーズ CareWiz事業部 CareWiz企画部 ハナストグループ グループリーダー
	宇井 吉美	株式会社aba 代表取締役
特別顧問	辻 哲夫	東京大学 高齢社会総合研究機構 / 元厚労事務次官
顧問	石山 麗子	国際医療福祉大学 医療福祉経営専攻 教授
	柴口 里則	株式会社グリーンケア 専務取締役
	山本 左近	さわらびグループ CEO/DEO
監事	三原 宇雄	マーブルメトリクス株式会社 代表取締役 / 公認会計士

現状の認定調査の課題

1. 聞き取り調査による不正確性
2. 地域による軽重度変更率の差
3. 認定調査に係る膨大な経費(下部参照)
4. 介護度が重くなると限度額が上がる為にかかる「重くなってほしい」というバイアス
5. ガン末期患者への判定までの時間
6. 認定期間の延長による柔軟かつ迅速な対応の困難性
7. 厚労省・各委員会にAI専門家の不在

主な市町村別認定調査予算

大阪市 約30.0億円 (R5年度)

神戸市 約18.2億円 (R5年度)

横浜市 約30.1億円 (R6年度)

AI(機械学習)・画像分析の活用

現状



申請受付

認定調査

主治医意見書の作成

一次判定

結果確認

資料の作成・
発送

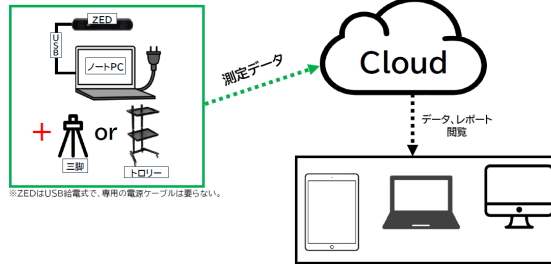
認定審査会

判定結果入力

通知書・
被保険者証の発行

受理

規制改革の 実現後



申請受付

**AIによる
認定調査**

主治医意見書の作成

一次判定

AI
二次判定

通知書・
被保険者証の発行

受理

AI画像分析による要介護度認定の自動化

基本情報

TUG

歩行分析

立位動作

認知症等の評価

特記事項

主治医意見書

画像分析

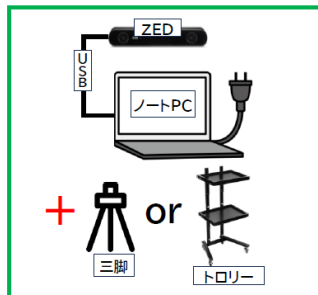
言語分析

音声分析

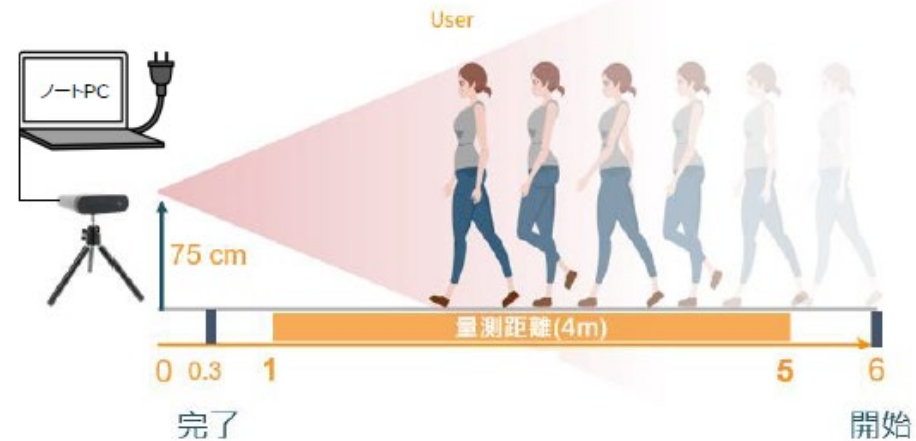
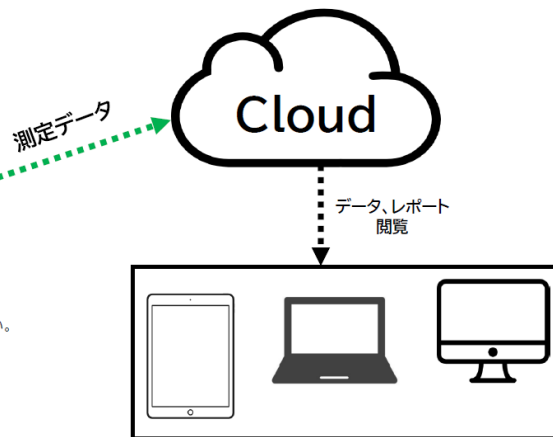


機械学習

介護度予測



※ZEDはUSB給電式で、専用の電源ケーブルは要らない。



まとめ

AI画像分析等による認定調査の効率化と正確性の向上

- 標準化による地域差の解消
- 介護度悪化へのバイアスの解消
- 認定調査予算の削減
- 介護度適正化による社会保障費の削減
- 認定調査員の人材不足の解消
- 介護度改善インセンティブ制度の推進による自立支援重度化防止の普及

【一次判定について】

認定調査員の居宅訪問をやめ、カメラ／センサーの一定期間の設置に（実証実験の上で）切り替えることが可能ではないか

【二次判定について】

認定審査会での属人的な議論・結果がAI分析等により代替可能であれば、従来の介護認定審査会に代わる迅速オプションとして検討可能ではないか

最後に

1. 認定調査の改革は、インセンティブ制度の適正化・推進を通じ、「お世話をすればするほど儲かる」(要介護度悪化バイアス)という悪循環を断ち切り、各ご利用者様の健康寿命延伸のみならず国・地方自治体の社会保障費抑制にもつながる。要介護認定の担い手不足の改善にも資する
2. 国による実証実験は必須

ご清聴ありがとうございました



Japan
CareTech
Association